

広瀬川も冬景色となり、枯れた草木の河川敷に人影もまばらです。水面には泉ヶ岳、大年寺山、近隣のビル群を静かに写し、目を転じれば広瀬橋を歩きかう人と車に師走の喧騒を感じさせます。さていよいよ年末のあわただしさが加速し、2006も瞬く間に過ぎる気配です。皆様いかがお過ごしですか。時節柄体調に気を付けて頂き、新年を健やかに迎えらることを祈ります。今年1年間大変お世話になりました。

<予定>

- ・ 12/9 (土) 10時～ 広瀬橋 広瀬川清掃 (ボランティア歓迎) 軍手、長靴持参のこと。終了後に恒例の焼き芋大会があります。会費無料。複数参加の場合は事前連絡を。
- ・ 12/27 (水) 午後7時～ いたう会館 長町
- ・ 12/09 (土) 10時～ 広瀬橋 広瀬川清掃 (ボランティア歓迎) 軍手、長靴持参のこと。終了後に恒例の焼き芋大会 参加無料 (複数参加の場合には要連絡)
- ・ 12/27 (水) 午後7時～ 忘年会 五十集屋 会費4000円美味しい魚料理とお酒で。
- ・ 平成19年1/6 (土) 初歩き10時広瀬橋集合「笹川散策」～ホテル再生に向けた川づくりを見学～
- ・ 1/24 (水) 午後7時 例会 たいはっくる 「新年度に向けて自由討議」
- ・ 広瀬川広瀬橋下流域の「水辺のユニバーサルデザイン」が近く第2回目の協議がなされます。

<報告>

- ・ 11/11 広瀬川清掃実施 晴天の広瀬川に冷気が漂う中での清掃でした。参加者21名
- ・ 11/22 公開講座 例会 太白区中央市民センター第一小会議室
公開講座テーマ「広瀬川と堰」～魚がのぼりやすい川づくり～
講師 仙台市経済局農林部農林土木課 係長 須藤 一博氏
藩政時代は土嚢積みの七郷堰と六郷堰があり、台風による洪水後、昭和29年6月に愛宕堰が完成。郡山堰は昭和28年頃災害復旧事業により郡山地区の灌漑施設として築造され、魚道は昭和62年平成9年、平成10年に関係者協議の上、改修工事、延長工事が行われている。
新しい堰構築は財政支出が困難であることや、農家の負担もあることから困難である。と説明があった。
- ・ 11/30 第6回笹川環境懇談会 (国交省仙台事) 水辺のバリアフリーを含め、河川環境改善が完成。
- ・ 12/01 午後2時～ 県庁1階 みやぎ広報室 「広瀬川にアユの里づくり市民協働シンポジウム」
「広瀬川のアユの遡上状況調査結果」県内水面試験場 熊谷明氏
「広瀬川のアユの食餌組織と季節変化」東北大農学部 伊藤絹子氏
「広瀬川の水量と水質」国交省仙台河川国道事務所 調査第一課長 佐藤正明氏
「広瀬川のアユを呼び戻すための市民協働事業」広瀬川の清流を守る会 日下均会長
郡山堰仮設魚道の市民協働提案がなされました。

氏名	出席	連絡先
	1. 出席 (名) 2. 欠席	
1年を振り返り、ひとことお書き願います。(参加する方も・しない方も)		